

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

九州の元気を、世界へ。魅力あふれるまちづくりを通じて、九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。

GHG排出量削減
60%

② 中長期の経営戦略

1. サステナブルなモビリティサービスの実…

2024年4月の運賃改定により、物価高騰や待遇改善のコスト上昇に対応。安全とお客さま満足向上を通じたグループの持続的成長を推進。

3. 未来への種まき

ベンチャーキャピタル出資やスタートアップとの協業で新規事業創出。人流依存を改善し強みを活かせる事業への投資推進。

2. 事業間連携強化によるまちづくり

駅中心のまちづくりで事業成長と事業間連携を強化。JRキューポの拡大やお客さまデータ分析で複数サービス利用促進。未来市場戦略部を新設。

4. 労働市場対応と人的資本拡充

待遇改善・働きやすさ向上への投資拡充。マテリアリティ・事業戦略連動の研修で人材育成と人材KPI設定・検証を推進。

③ 対処すべき課題

① グループガバナンス強化

- ・ JR九州高速船での安全管理体制事案受け、全社安全推進会議を毎年開催
- ・ グループ会社役員・監査役への研修でコンプライアンス意識向上
- ・ 各グループ会社に安全担当役員配置、内部通報制度強化（2月より第三者機関運用）

② 適切なリスクテイク体制構築

- ・ 取締役会の独立社外取締役比率を原則過半数に設定
- ・ 役員報酬見直しで業績・企業価値向上への動機付け強化

③ DX推進と企業文化醸成

- ・ 3月アップデートのDX戦略で「デジタルの力で、まちを、お客さまを、社員を、元気に」を旗印に推進
- ・ システム・インフラ整備、教育・人材育成、変革文化醸成

面接で使えるポイント

- ・ 経営理念『九州の元気を、世界へ』と安全最優先の使命で、お客さまと地域に貢献する事業展開。
- ・ 2026年3月期開始の中期計画で、サステナブルなモビリティと事業間連携によるまちづくり推進。
- ・ 2035年度GHG排出量60%削減など環境ビジョン2050で、企業価値と持続可能性を両立。

証券コード 9142

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
5,004億円営業利益率
14.8%財務健康度
44点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
640万円

陸運業内 32位/57社

平均年齢
42.5歳

陸運業内 36位/57社

平均勤続
13.4年

陸運業内 44位/57社

女性管理職
6.4%

陸運業内 24位/46社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

1987年設立の大手鉄道事業者であり、九州全域を中心に総合的な運輸・不動産・流通

主力事業・セグメント

- ・運輸 37.1%
- ・不動産・ホテル 30.3%
- ・小売・レストラン 14.3%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高5,004億円の事業規模
- ・営業利益率14.8%の安定した収益性
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」夏季制服をリニューアル

